

日本共産党 和歌山市会議員

ひめだ高松ニュース

No.1005

14.4.16

桜も散り新緑の季節に



お城の桜も散り、新緑が際立って目に飛びこんできます。毎日、お城を食べているわけではありませんが、「月日の立つのも夢のうち」といふ浦島太郎の歌のように、とんぼん時間が過ぎていくようです。カメの歩みで前に進んで行きたいと思えます。

市つくる会 市政ウォッチング 2014

4月12日(土) 活気ある住みよい和歌山市をつくる会の市政ウォッチング2014の添乗員兼ガイド役として参加しました。前日の夜中までコピペをして作ったガイドブックを持ち、出

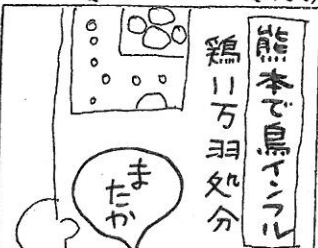
発地の市教育会館にかけつけました。午前10時過ぎに出発。最初に、土入の市民テニスコートへ。国体が終わればテニスコートはつぶされ、西保健センターと河

る予定地です。続いて市の開発した分譲地であるスカイタウンつじが丘へ。分譲地の半分が売水残っており、「好評分譲中」のノボリが寂しそうに立っています。そして国体を口実に2億円(うち50億円が土地購入費)のテニスコートを見学。次に、閑空の土取り跡地・コスモパーク加太の太陽光発電予定地へ。同乗してくれた奥村のり子県議員が、カゴメのトマト菜園の説明をしてくれました。昼前に加太の国民休暇村へ。ベランダから友が島を見て、紀淡連絡道路構想についてみんなで話し合いました。レストランで予約し

フワのムラ



<788>



ていた昼食をとり、弾薬庫一跡などを見学しました。

こんにちは日本共産党のかとう直人です。(その15)

「稲村の火の館」へ 先日、広川町の「稲村の火の館」へ障害者・患者9条の会の皆さん26名と出かけました。ご存知の方も多いかと思いますが、150年ほど前の安政南海地震で、逃げ惑う人の目印に稲村に火を放った浜口梧陵さん。後の堤防工事は時の紀洲藩の財政難のため私財で。一緒に植えた松は漂流物を止め、流される人が枝に引っかかるとともに、はげの木からはろうそくを作り堤防補修費にしたとのこと。

津波対策と生業対策でもあつた堤に、実際に皆で登りました。100年後の昭和南海地震の津波を防いだのです。教育熱心な梧陵さんはまた今の耐久中学、耐久高校に名を残すことになる耐久社も創設したと語り部ボランティアアサヒの話です。広川9条の会、由良9条の会の皆さんとの昼食交流会。軍事栄えて福祉細る今の情勢をくいとめ平和とともに防災に備えることが大事だと。また、避難の際、補修具の規格、常時服用する薬名など個人情報を明記したメモが役立つなどの話もお世話くださった皆さん、ありがとうございました。



かとう直人 (県議予定候補)

公共事業のあり方考えた取組

昼食後は、城北小学校(小中一貫校建設予定地)、JABビル(優良建築物等整備事業)、けやき大通り市街地再開発事業、休館した児童女性会館、若原の市営

住宅、取り壊し中の新柏郡・ほうらい荘、建設中の南保健センター、南インターチェンジ建設予定地、マオルテワジマ、最後にぶらくり丁の場外馬券売場設置予定のブリスビルを駆け足でまわりました。

ウォッチングの取り組みを通じて私、ひめだが思ったことは、スタイタウラつじが丘のように、最初の計画(宇治田市長時代の第4団地建設)がどうだったのかというところが、ずうっと何十年もあとまで影響するわけで、事業の1つ1つを精査しなければ、後々工

ライことになるということとです。早稲田の国会議員や知事が紀述連絡道路建設などを本気で主張している政治変えないと

政治変えないと 和歌浦後援会

4月13日(日)、日本共産党和歌浦後援会が市政報告会を兼ねた集いを開いてく水しました。

防災について話をとのリワエストがありましたので、和歌浦の津波避難場所を後援会のみなさんと見に行っ

たので、後々の財政負担の大きい公共事業には、気をつけなければと改めて思ったのです。

たときの写真や津波避難路の整備についての質問、そ水らを載せた「ひめだニュース」を配って話をさせてもらいました。ふじ健太郎さんから、消費税増税と一体になった社会保障改悪の話がありました。

参加者からは、介護保険利用にあたっての減額制度の周知についての改善や介護職員の待遇改善、また津波避難路の整備の問題や足牌が弱かったり、寝たきりなどの高齢者の避難、ほう読者の投稿。

短歌 勝田 鉄也

軒端からさっさと飛び立つ燕を
始めて見たり未だ寒き春
事業とは名ばかりなりき箔押は
こんな小さな店で良かった

日本共産党

「原発永久化」許すな

安倍自公政権が閣議決定した「エネルギー基本計画」は、いったん削除を決めた冒頭の東京電力福島第一原発事故への「反省」は復活させたもの

の、原発を「重要なベースロード電源」と位置づける立場は変えず、口先だけの反省で原発依存を続ける姿勢を露骨にしたものです。

東日本大震災にともなう原発事故はいまだに収束のめどさえ立っていないのに、原発依存にのめりこむなど被災者と国民の気持ちを踏みにじるものです。「エネ

ルギー基本計画」ができたからといって、原発の再稼働や新増設、原発輸出などに舵を打つのは絶対に許さ水ませせん。

「計画」の強行を許さず撤回を求め、原発の廃止、自然エネルギーへの転換を進めるうえで国民の世論と運動がいよいよ必要です。

第85回和歌山県中央メーデー
5月1日(木) 西の丸広場
 9:30~ メーデー式典
 10:45~ ピピール行進
 11:45~ 食事と交流
 ◇安倍「暴走政治」ストップ!
 実行委員会 県地評内 436-3520